

2023年5月1日

教養学部・総合文化研究科・数理科学研究科・理学部数学科

学生ならびに教職員のみなさま

総合文化研究科長・教養学部長

真 船 文 隆

数理科学研究科長

齋 藤 毅

理学部数学科長

小 林 俊 行

駒場 I キャンパスにおける警戒ステージの改定について

新型コロナウイルス感染対策については、ご協力をいただきありがとうございます。

政府において、新型コロナウイルス感染症が、2023年5月8日（月）から5類感染症に位置づけられることが決定され、基本的対処方針等が廃止されることとなりました。

これを受け、本学の本部における対応については、令和5（2023）年4月28日付け新型コロナウイルス対策タスクフォース座長通知「新型コロナウイルス感染症への今後の対応方針について（通知）」（以下「別紙通知」という。）のとおり、2023年5月8日（月）以降、「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための東京大学の活動制限指針 2022」の活動制限レベルを「A」から「S」に引き下げることとなりました。

これに伴い、同日より別紙のとおり駒場 I キャンパスにおける警戒ステージを「イエロー I」から「グリーン（平常通り）」へ緩和いたします。

なお、基本的な感染対策実施、飲食を伴う懇親会等については、別紙通知を参照し、活動制限指針のレベル、ステージ変更に関わらず、引き続き基本的な感染対策の継続にご留意いただくよう、よろしく申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京大学の活動制限指針2022（駒場 I キャンパスにおける運用）

ステージ移行日：2023年5月8日

レベル (本部判断)	駒場 I キャンパス におけるステージ	研究活動	授業（講義・演習・実習）	学内会議	学生の課外活動	図書館の利用	入構の取扱い
S	グリーン	平常通り	平常通り	平常通り	平常通り	平常通り	平常通り
基本的な感染対策を実施して行動してください							
A	イエロー I	感染拡大に最大限の配慮をして、研究活動を行うことができます。	前期課程：感染防止対策を講じた上で、原則として対面授業を行います。ただし、一部の特に認められた授業はオンラインで行います。 後期課程、大学院：感染防止対策を講じた上で、原則として対面授業を行います。ただし、オンライン授業の方が教育効果の高い授業はオンラインで授業を行うことができます。	会議は積極的にオンライン会議を利用してください。どうしても対面会議が必要な場合は、30人以下であれば行うことができます。	感染防止対策を講じることを条件として、学生支援課に活動届等を提出し、承認を得た上で活動を認めます。	感染拡大の防止措置を講じた上で閉館します。館内の感染拡大防止策として、飲食スペースを閉鎖し、学外者の利用は一部の方に限らせて頂きます。詳細は図書館ホームページでお知らせします。	入構は各門から可能です。ただし、感染状況によっては、入構制限を実施する場合があります。 学生については、授業の受講、試験の受験・実施、研究活動、図書館や情報教育棟等の利用、課外活動（学生支援課の承認が必要）、進学相談、証明書発行等の手続などの理由による入構を認めます。 教職員については、左記の指針を踏まえて入構の要否を判断してください。 なお、正門以外の各門を開放する場合は、本学が許可した場所に限りマスクの着用など感染防止対策を遵守した上で一般の方の入構も認めます。
B	イエロー II	研究活動は行えますが、感染拡大に最大限の配慮をしつつ、現場での作業を時間差で行う、滞在時間を短くするなど、人との接触を最小限にすることを検討してください。	前期課程：感染防止対策を講じた上で、原則として対面授業を行います。ただし、一部の特に認められた授業はオンラインで行います。 後期課程、大学院：感染防止対策を講じた上で、対面授業とオンラインを併用して授業を行います。	会議は積極的にオンライン会議を利用してください。どうしても対面会議が必要な場合は、30人以下であれば行うことができます。	感染防止対策を最大限講じることを条件として、学生支援課に活動届等を提出し、承認を得た上で活動を認めます。	平日及び休日を短縮閉館とします。館内の感染拡大防止策として閲覧席及びメディアパークの座席の間引きを行い、グループ学習室及び飲食スペースを閉鎖します。閲覧席に限りがあるため、学外者の利用は一部の方に限らせて頂きます。詳細は図書館ホームページでお知らせします。	入構は各門から可能です。ただし、感染状況によっては、入構制限を実施する場合があります。 学生については、授業の受講、試験の受験・実施、研究活動、図書館や情報教育棟等の利用、課外活動（学生支援課の承認が必要）、進学相談、証明書発行等の手続などの理由による入構を認めます。 教職員については、左記の指針を踏まえて入構の要否を判断してください。 なお、正門以外の各門を開放する場合は、本学が許可した場所に限りマスクの着用など感染防止対策を遵守した上で一般の方の入構も認めます。
C	オレンジ	研究活動は行えますが、感染拡大に最大限の配慮をしつつ、可能な限り構内での滞在時間を減らし、自宅での作業を検討してください。	前期課程：原則としてオンライン授業を行います。ただし、一部の対面で行う必要がある授業については、最大限の感染防止対策を講じた上で、対面授業を行います。 後期課程、大学院：最大限の感染防止対策を講じた上で、対面授業とオンラインを併用して授業を行います。	会議は積極的にオンライン会議を利用してください。どうしても対面会議が必要な場合は、20人以下であれば行うことができます。	感染防止対策を最大限講じることを条件として、学生支援課に活動届等を提出し、承認を得た上で一部の活動を認めます。 なお、感染状況を勘案し、禁止となる場合もあります。	平日及び休日を短縮閉館とします。館内の感染拡大防止策として閲覧席及びメディアパークの座席の間引きを行い、グループ学習室及び飲食スペースを閉鎖します。学外者の入館を停止します。詳細は図書館ホームページでお知らせします。	入構は正門のみ可能です。 学生については、授業の受講、試験の受験・実施、研究活動、図書館や情報教育棟等の利用、進学相談、証明書発行等の手続などの理由による入構を認めます。 教職員については、左記の指針を踏まえて入構の要否を判断してください。 なお、全学の方針やキャンパス内の感染状況等を考慮のうえ、裏門開放の可否について検討の結果、裏門を開放する場合は、本学が許可した場所に限りマスクの着用など感染防止対策を遵守した上で一般の方の入構も認めます。
D	レッド I	現在進行中の実験・研究を継続するために必要最小限の研究室関係者のみの立ち入り許可されます。立ち入る研究室関係者は構内での滞在時間を減らすとともに、それ以外の研究室関係者は自宅での作業となります。	前期課程：原則としてオンライン授業を行います。ただし、一部の対面で行う必要がある授業については、最大限の感染防止対策を講じた上で、対面授業を行います。 後期課程、大学院：オンラインでの実施を中心としつつ、対面で実施するほうが教育効果の高い授業は、最大限の感染防止対策を講じた上で、対面（オンラインとの併用を含む）で授業を行います。	オンライン会議のみ	全面禁止	原則休館とします。電子ジャーナル等のオンラインサービスを継続します。教員は、事前申請による講義に必要な資料の出納、貸出及び複写が可能です。学生については入館停止とします。詳細は図書館ホームページでお知らせします。	入構は正門のみ可能です。 研究室に所属し研究活動に従事する学生以外入構は原則認めません。ただし、証明書の発行等のために短時間入構する場合は、この限りではありません。 教職員については、左記の指針を踏まえて入構の要否を判断してください。 学生・教職員（他キャンパスの学生・他部局の教職員を含む。）の入構の際には、入構申請と身分証の提示が必要です。 研究科長室の許可を得ない一般の方の入構は原則として認めません。
E	レッド II	以下の研究スタッフ（事情によっては大学院生・研究員も可）の研究室への立ち入り許可されます。 1) 中止することにより大きな研究の損失を被ることになる、長期間にわたって継続している実験を遂行中の研究スタッフ 2) 進行中の実験を終了あるいは中断する業務に関わる研究スタッフ 3) 生物の世話、液体窒素の補充、冷凍庫修理など研究材料の維持あるいはサーバーの維持のために一時的に入室する研究スタッフ	前期課程、後期課程、大学院：オンライン講義のみ。	オンライン会議のみ	全面禁止	完全休館とし、教員及び学生入館を停止します。電子ジャーナル等のオンラインサービスは継続します。詳細は図書館ホームページでお知らせします。	入構は正門のみ可能です。 研究室に所属し研究活動に従事する学生以外入構は原則認めません。ただし、証明書の発行等のために短時間入構する場合は、この限りではありません。 教職員については、左記の指針を踏まえて入構の要否を判断してください。 学生・教職員（他キャンパスの学生・他部局の教職員を含む。）の入構の際には、入構申請と身分証の提示が必要です。 一般の方の入構は認めません。
F	レッド III	大学機能の最低限の維持のために、専攻長など組織代表者の許可の下で、生物の世話、液体窒素の補充、冷凍庫修理など研究材料の維持あるいはサーバーの維持などを目的に、一時的に入室する研究スタッフのみの立ち入りが可能です。	前期課程、後期課程、大学院：オンライン講義のみ。	オンライン会議のみ	全面禁止	完全休館とし、教員及び学生入館を停止します。電子ジャーナル等のオンラインサービスは継続します。詳細は図書館ホームページでお知らせします。	緊急性の高い用務のみ入構を許可します。事前に研究科長室から許可を受けてください。 一般の方の入構は認めません。

改定日：2022年4月1日